



かがやき新聞

第3号

かがやき隊員 小林 駿

京都市初の地域おこし協力隊『北部山間かがやき隊』。その活動報告新聞です！北部山間地域で過ごす初の冬。今年が雪が積もるのでしょうか！？

花脊にハロウィンお化け屋敷現る！



ハロウィンをご存じでしょうか。起源には諸説あり、秋の収穫を祝うお祭りであったり、悪霊を追い払うお祭りであったりしますが、今ではお化けに扮した子供が家をまわり、「お菓子をくれないと悪戯しちゃうぞー」とお菓子を貰ってまわるイベントになっています。

さて、そんなハロウィンのブームがこの花脊にも押し寄せてきました。邦画研究家のスチュワートさんは、数年前から岩倉の自宅でハロウィンお

化け屋敷をしていましたが、年々人気を増し、もつと大きなお屋敷でやろうと、花脊に越してこられました。そして十月二十八〜三十日の三日間自宅を改造してお化け屋敷に！ 映画の研究家とあり、内装にはこだわりのお化けがたくさん…。子供は泣き叫び、大人でも腰を抜かしてしまいう方がでて、大盛況でした。



地元の方もたくさんお手伝い

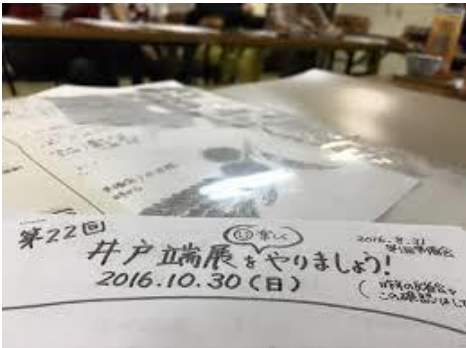


に来られて、カレーやケーキ、ガレットなどの有志の屋台も集まり、街の方や地元の小学生、お年寄りから子供まで誰でも楽しめるお祭りとなりました。来年も開催予定なので、怖い物知らずの方は是非ご来館お待ちしております。



別所井戸端展、賑わう

今年で二十二回目となる別所井戸端展が、十月三十日に開催されました。当日は天気もよく、たくさんの方が訪れ別所の家々が賑わいました。私も初めて見学させていただきました。みなさんが日々暮らしている家にあげてください、大切にしている箸笥や、軒先に吊るされた柿、あたたかい縁側など生活の一部



を見ていううちに、この地域での暮らしに入り込んだような、そんな体験でした。毎年来られている方ももちろん、初めて来られた方もきつとこ

の地域のことを好きになってくれたことだと思います。安納芋の焼き芋と、とち餅ぜんざいごちそうさまでした！



田舎に泊まろう！

田舎暮らしを体験するのに農家民宿という方法があります。農家が自宅の空き部屋などを使い旅行者に宿泊場所を提供する手法で、農林漁業体験をセットにするこゝとが条件です。その土地の生活に触れる事ができ、移住促進、地域活性化に繋がるという

ことから京都市でも整備を推進しています。

この北部山間地域では久多の住民がグループとなり一斉に農家民宿を始めようと知恵を出し合っています。

一月には久多で農家民宿開業予定の家を覗けるイベントも企画進行中です。街か

ら少し来れば豊かな自然に触れられる…それが浸透するように、かがやき隊としても農家民宿を応援していきたいと思ひます！



グループの方たちと滋賀県高島市の畑というところに農家民宿の研修にいつてきました。棚田百選にもえらばれている素晴らしい棚田でしたが、やはり後継者不足には悩まされているそうです。



先日久多で行われたカヤ刈りの様子。たくさんのボランティアと住民が参加しました。



ひとこゝろ

この地に住んでから、街中よりも四季の移り変わりを感じます。それは食べ物であったり、シカの毛の色であったり、落ち葉であったり、朝の寒さであったり、様々な所から感じます。ここに来る以前は新潟越後湯沢のスキー場で働いており、そのオーナーが「これだけ雪があると、春の素晴らしさをより一層感じられるよな〜」とつぶやいていたことがありました。きつとこ

で暮らしている方々も共感できるかと思ひます。自然の中で暮らすと当然大変なこともありすが、それ以上食べ物、景色、人の優しさ…たくさん喜びに感ずれる事ができると感じています。



↑別所OKU きょうとネットで育てている蕎麦を収穫しました。

12月24日
クリスマス演奏
会のお知らせ

フルート演奏
場所:花友はなせ
時間:14時~

演奏者:
警察駐在井関家
かがやき隊小林家

京都市文化市民局地域自治推進室

京都市北部山間かがやき隊左京区担当

小林 駿

mail: kogdc131@city.kyoto.lg.jp

花脊出張所 tel: 746-0215